

JALCARGO 2007年度下期路便計画

JALCARGOは、冬ダイヤにボーイング767貨物専用機の3号機を投入。中国、東南アジア・ネットワークの強化により、お客さまの利便性向上を図ってまいります（下表では主要な変更となる中国、東南アジア線のみ掲載）。

- 中国線＝767Fで週間14便運航している中国線を、週間17便に増便します。
- アジア線＝シンガポール、クアラルンプール、バンコク、マニラ、ジャカルタに続き、新規就航地点としてホーチミンへ貨物便を運航します。日越間初となる貨物便は24時間化された関西空港からの運航を計画しています。
- 欧州線＝一部路線を従来のアンカレジ寄港からアムステルダムへの直行便とし、アムステルダム寄港を増便（夏ダイヤ比週間1便増）します。
- 欧米線＝下期に747-400F2機の導入を予定しており、747-200F退役とともに東海岸路線を順次400F化します。

中国・東南アジア線スケジュール

上海線		月	火	水	木	金	土	日		
貨物便名/機材		JL6527	JL6521	JL6523	JL6527	JL6527	JL6521	JL6527	JL6521	JL6523
成田	発	21:25	10:30	20:55	21:25	21:25	10:40	21:25	11:15	20:55
関西	着発	23:00 01:30(+1)	↓	↓	23:00 01:30(+1)	23:00 01:30(+1)	↓	23:00 01:30(+1)	↓	↓
上海	着	03:10(+1)	12:55	23:20	03:10(+1)	03:10(+1)	13:05	03:10(+1)	13:40	23:20

その他中国線		火	水	木	金	土	日				
貨物便名/機材		JL6543	JL6547	JL6549	JL6543	JL6545	JL6541	JL6545	JL6549	JL6555	JL6561
成田	発		11:30	08:30			11:20		08:30	09:00	
名古屋	着発		↓	09:50 11:30			↓		09:50 11:30	↓	
関西	発	12:25		↓	12:25	12:05		↓			09:00
天津	着発	↓		13:50	↓	↓	↓	13:50			11:05 13:30
大連	着	14:05	↓		14:05	↓	13:40	↓			14:30
青島	着		14:00			14:00				↓	
広州	着								13:15		

香港線		火	水	木	金	土	日					
貨物便名/機材		JL6503	JL6509	JL6513	JL6509	JL6513	JL6509	JL6513	JL6513	JL6513	JL6507	
成田	発	07:00		08:10		08:50		09:00		09:40	21:00	
関西	発	↓	21:00	↓	21:00	↓	21:00	↓	22:00	↓	↓	
香港	着	11:05	00:20(+1)	12:15	00:20(+1)	12:55	00:20(+1)	13:05	01:20(+1)	13:45	13:05	01:05(+1)

東南アジア線		月	火	水	木	金	土					
貨物便名/機材		JL6311	JL6311	JL6347	JL6311	JL6351	JL6311	JL6345	JL6311	JL6341	JL6345	JL6351
成田	発	22:30	21:40	22:10	21:45		21:25	12:00	20:55	21:35	11:20	
関西	発	↓	↓	↓	↓	17:50	↓	↓	↓	↓	↓	11:20
シンガポール	着発	05:10(+1) 06:50(+1)	03:55(+1) 05:50(+1)	↓	04:00(+1) 05:50(+1)	↓	03:40(+1) 05:45(+1)	↓	03:35(+1) 07:00(+1)	↓	↓	↓
クアラルンプール	着発	↓	↓	04:50(+1) 07:40(+1)	↓	↓	↓	18:40(+1) 21:45(+1)	↓	↓	18:00 20:05	↓
バンコク	着発	08:15(+1)	07:15(+1)	↓	07:15(+1)	22:10 23:45	07:10(+1)	↓	08:25(+1)	02:55(+1)	↓	15:40 21:00
マニラ	着			11:25(+1)		↓		↓			↓	↓
ジャカルタ	着					↓		22:45(+1)			21:05	↓
ホーチミン	着					01:20(+1)						23:35

(注1) 赤字は冬ダイヤ以降(10月28日～)の増便。(注2) 黄色の欄は747-200Fまたは747-400F、淡紫の欄は767-300F。(注3) 自社運航便のみ表記、発着時刻はすべて現地時間です。(注4) このスケジュールは計画段階であり、予告なく変更となる場合がありますので、ご了承ください。

品質向上を目指し、 ノウハウ継承に取り組むJALCARGO

視聴覚教材を活用、海外も含め基本品質を浸透

労働力人口が減少に転ずるなかで、いかに高度な技術力やノウハウ、経験を継承するかといった「二〇〇七年問題」が産業界で大きな課題になっています。JALCARGOは、「二〇〇七年問題」に対応、ますます充実した品質・商品・サービスで、お客さまのニーズにお応えしていくため、長年培ってきたノウハウの継承に取り組んでいます。

視聴覚教材を活用し、 ノウハウを継承

JALCARGOは、ノウハウが特に重要となる貨物上屋内の荷役作業やトラフィック業務に焦点を当て、二〇〇六年度に「フォークリフト運転・操作に係わる十ヶ条」「上屋基礎教育」「貨物再教育」の三本の視聴覚教材（DVD）を制作しました。JALCARGOの上屋荷役の中核を担うJALカーゴハンドリング社との共同制作によるもので、同社は昨年十二月に香港で開催されたフォークリフト・パレット積み付け世界大会（HAC T L世界大会）で、総合二位の好成績を収めています。

これらの教材は、一貫した高品質をお客さまにご提供することを目的にしたもので、海外も含めた各空港スタッフに円滑・正確に伝わるよう

各業務を可視化し、さらに日本語、英語、中国語の三カ国語で解説しています（貨物再教育は日本語、英語のみ）。

この視聴覚教材の活用により、例えば中国での品質向上プロジェクトの推進や新入社員教育、さらには日常業務で必要な再確認作業の徹底など、いつでも具体的なかつ正確な教育活動が可能になりました。現在、JALCARGOは、これら三本の視聴覚教材を活用して、国際貨物を取り扱っている国内空港を始め、海外四十二空港のほぼ全スタッフに対し、JALCARGOの基本品質を浸透させています。以下にその具体的な事例をご紹介します。

フォークリフト運転・操作に係わる十ヶ条

イレギュラーの約六割がフォークリフト作業に起因するという過去の統計に着目し、順守しなければならない安

全・確実なフォークリフト作業基準を十項目に整理。この中にはフォークリフトの急発進、急停車を禁止する項目もあります。いかにスキッド上で貨物を固縛していても、フォークリフトを急発進、急停車させると、貨物がスキッド上から落下して損傷してしまう可能性があるためです。

スタッフの経験に左右されない貨物取り扱い品質を保持するため、各項目における不具合や注意点を可視化し、さらに失敗例を映像で示すなど、疑似体験を通じ、より実践的で確実な理解の深化に努めています。

上屋基礎教育

フォークリフト作業を含めた上屋荷役業務全般を対象とし、「フォークリフト運転・操作に係わる十ヶ条」と組み合わせることで、上屋での基本的

な荷役業務をすべて網羅できる内容になっています。

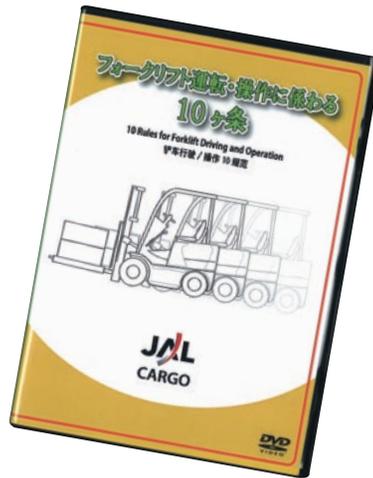
輸入業務では航空機の到着から貨物の搬出まで、輸出業務では貨物の搬入から機側（SHIP SIDE）への搬出前までの作業を対象とし、一つひとつの作業の重要性と、そこに潜むイレギュラーの可能性を視覚化しています。イレギュラーに対しては、指差し呼称のような日本の確認行為に加え、JALCARGOが培ってきた様々な工夫を説明に加えることで、より実践的な理解を促進しています。

例えば、貨物の個数を正確に数えることは、通常なんの問題もなくできることです。しかし、こうした単純な作業の中にこそ、イレギュラーの潜む可能性があるのです。どのような状況下でも、一つひとつの作業を確実に遂行することが求められ、高度なノウハウ





フォークリフトの後進走行



フォークリフト運転・操作に係わる10ヶ条

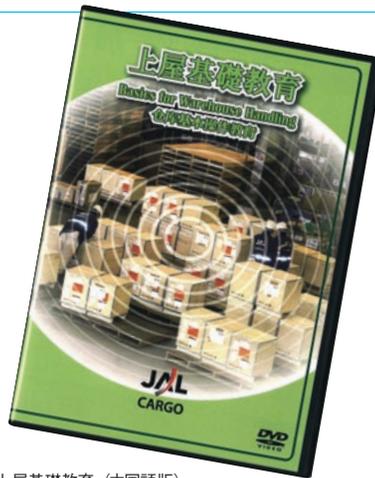
に基づく様々な工夫が安全・確実な貨物取り扱いの礎となります。

貨物再教育

「フォークリフト運転・操作に係わる十ヶ条」「上屋基礎教育」の二本の視聴覚教材は、主に上屋荷役業務を対



コッツアーゲージの使用



上屋基礎教育 (中国語版)

象にしていますが、「貨物再教育」は特殊貨物の取り扱い指示や、お客さまからのお問い合わせに対応するトラック部門を対象にしたものです。例えば、特殊貨物を輸送するケースでは、ULDに貨物を確実に固縛する方法や、ULDの最大積載重量を超過す



タイダウン1 (貨物再教育英語版)



貨物再教育

ることなく安全に輸送する方法など、グラフィックで具体的に示し、トラック部門のスタッフにイメージしてもらうことで、知識の向上を図っています。

新たな視聴覚教材の制作も計画

二〇〇六年度に制作した三本の視聴覚教材は、基本的な貨物業務を対象とし、貨物輸送に欠かせない盤石な基本品質の向上に役立っています。今後もJAL CARGOのプライオリティーサービスであるJ PRODUCTSや、超精密機械といった特殊貨物などの取り扱いに関する視聴覚教材の制作を計画。JAL CARGOは視聴覚教材を円滑・確実なノウハウ継承に有用なツールとして位置づけ、スタッフの教育に積極的に活用していきます。

様々な形態の特殊貨物においても豊富な輸送実績を誇るJAL CARGOは、蓄積したノウハウを生かし、安全・確実・迅速な航空輸送によって、多様化・高度化するお客さまのニーズに、常にお応えできるよう努力してまいります。



タイダウン2 (貨物再教育英語版)

人気沸騰！ 沖縄県産の果実「シークワサー」

「シークワサー」をご存じですか？ 主に沖縄県の北部で自生・栽培しているミカン科の果樹で、熟した果実は適度の甘味と酸味があります。健康に有効な成分(ノビレチン)が多く含まれていて、血糖値の抑制、抗ガンや中性脂肪降下などの効用があるとされ、沖縄では美容、健康、長寿の源として、昔から家庭で愛用されてきました。

シークワサーの今年の予想生産量は3000トンで、その99%はジュースや加工用原料として使用されます。大宜味村と並びシークワサーの生産拠点である勝山(名護市)。同地の農業生産法人「(有)勝山シークワサー」の山川社長によれば「原料不足や需要の急増で商品が不足し、価格も高値で推移していますが、今後、生産量が増えれば、よりお求めやすい商品価格を設定できるようになると思います」とのこと。

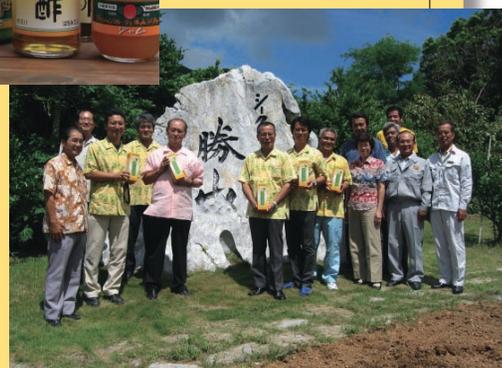
勝山のシークワサーは、沖縄県の優良県産品として推奨されていますが、同社では商品は安心・安全で



8月28日、仲井真知事が訪問

なければならぬとの認識から、賞味期限の日付から製品情報を開示(トレーサビリティ)するシステムを構築。同社のホームページから直接検索できるようにしています。

勝山はシークワサーの自生地であり、この地域の人々は古くからシークワサー、サトウキビなどを栽培・加工・販売して生計をたててきました。それだけに商品づくりへの「こだわり」は並大抵ではなく、本物の香りと風味を大切に、消費者に喜ばれる商品づくりを日夜目指しています。今後は8~9月は酢



ミカン、10~12月は加工用原料、12月下旬~1月は完熟ミカンでの出荷も検討しており、新鮮なジュースや青果などを、JALCARGOで本土にどんどん出荷する日も近いかもしれません。

● <http://www.mayaga.com/>

767-300型貨物専用機、ベトナム・ホーチミンに就航!

今年11月、JALCARGOのボーイング767-300型貨物専用機が、ベトナムの経済中心都市であるホーチミン・シティに就航します。

ベトナムには早くから日系企業が進出。日本との経済関係も緊密で、近年ではチャイナ・プラス・ワンの筆頭として注目されています。同国の輸出品目の特徴としては、マグロに代表される水産物のほか、衣料品、運動靴といった完成品の輸出に加え、電機・電子部品産業の水平分業の一翼を担う新興国として、半製

品の輸出入も増大しています。また、貿易取引実績(2006年度金額ベース)では、日本は輸出で2位、輸入では4位という重要な位置を占めており、中国も輸出で4位、輸入では1位と、ベトナムの重要な貿易相手国となっています。

史上初となる日越間の定期貨物便

の就航にとどまらず、中越間も含めた活発な航空貨物需要にお応えするため、今回就航する貨物便は、7月に増便した中国線とのスムーズな接続も実現。JALCARGOは、お客様の物流ニーズにお応えするアジア・ネットワークを一段と強化してまいります。

ホーチミン~関西~中国線スケジュール(関西~バンコク~ホーチミンは表紙記事をご参照ください)

便名	曜日	ホーチミン発	関西着/発(接続便名)	青島着	天津着	大連着
JL6352	木	03:05	09:55/12:05/12:25 (JL6545/JL6543)	14:00	—	14:05
JL6352	日	00:20	07:10/09:00 (JL6561)	—	11:05	14:30

(注1) 発着時刻はすべて現地時間です。(注2) このスケジュールは計画段階であり、予告なく変更となる場合がありますので、ご了承ください。